



令和2年5月号

※当面の間、駒剣の活動は自粛します。最新の情報等については駒剣 Slack をご確認ください。

※2020年度の剣道教室は、コロナウイルス感染予防対策を考慮し、当初の予定を変更し見合わせることにしました。時期を考慮し実施について再度検討いたしますのでホームページをご覧ください。



5月も予定がありません。今月やってみようと思うことを書き出してみてください。
このこまけんだよりの中にたくさんのヒントが書いてあります。参考にしてみましょう。
(本荘)



本荘先生からのお言葉

この原稿を書いているのは5月4日、ゴールデンウィーク真ただ中です。コロナウイルス感染がニュースになり始めたのは2月の初めくらいだったでしょうか。その頃はまさかこの時期まで稽古ができないとは思っていませんでした。「6年生を送る会」ができるかできないかと気をもんでいたのが遠い昔のようです。早く稽古を再開したいですね。そのためにも我慢して家から出ない生活を徹底していきましょう。

さて、今月は何を書こうかと。先月号で剣道を始めた頃のことを書きましたので、その後の私の剣道生活、「武士道シックスティーン」（高校大学・青春編）を簡単に。

第一志望の県内公立高校に落ち、都内の私立高校に入学。時を同じくして、母と弟が単身赴任中の父の元（大阪）へ引っ越すことになり、私は高校の寮で生活することになりました。入寮生徒20名にも満たない小さな寮で、入学したとき同学年は他4名、その全員が岐阜県神岡という小さな町から集団入学でした。春休みに入寮し彼らと生活を共にしたため、東京で暮らしながら岐阜弁に染まり、上京してまで勉学に励もうとしている彼らの志は高く、最初の頃は私もいい意味で影響を受けました。寮は高校の目の前にあり、私は予定通り剣道部の門をたたきました。そこではまず上級生の体の大きさや気迫に驚かされました。また、附属の中学校もあり（当時は中学からが2クラス、高校入学が10クラスくらい）そこから上がってきている者は引退もなくずっと稽古をしているので、同学年とは思えない力量がありました。中学の関東大会にも出場していたので8人ほどが皆強いのです。入部した1年生は34人、けっこうな人数でした。附属中学上がりにも早く追いつけるようがんばらねばと思ったのを覚えています。稽古時間は放課後1時間半から2時間、試合の時以外は休日も稽古はなく効率よく稽古ができていました。合宿や寒稽古などはそれなりに厳しく、途中仲間もだんだんと辞めていき卒業の時は半分になっていました。寮の屋上で素振りをしていた覚えはありますが、「強くなって絶対にレギュラーになってやる！」みたいな熱血剣士にはなれませんでした。



左の写真は、高2か高3の学年別試合の時のものです。学年で2チーム出られてAチームに入れた試合です。

このメンバー全員今も稽古を続けていて5人中4人が教士七段です。今でもたまに一緒に稽古をしますが、別の道場での一本（一杯）が多いです。

高校時代に教師になりたいと思い、教師になるには地元の国立大学に進むべきと考えました。実家が鎌倉で長男だからいずれはそこにと、短絡的に横浜国立大学教育学部を受験、

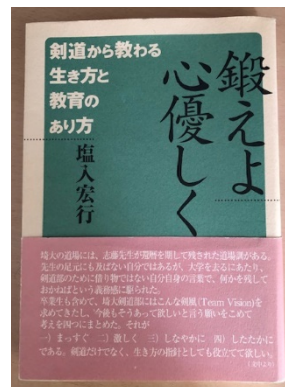
またしても不合格で一浪の身に。姉が東海大に通っていてそこに同居。東海大の学生や地元の子どもたちと稽古を続けることができました。いろいろ考え、良き指導者がいる大学をと埼玉大学教育学部を受験、そこで剣道を続けることになりました。

当時の埼大剣道部は、学年6～8人で県内の高校と地方から上京して来ている者半々といったところ、剣道名門高校からセレクションで入学してくるのは我々のだいたい後のことです。私の代は、石川県、岩手県、埼玉県3人、東京都2人（私を含む）、女子はいませんでした。塩入宏行先生、大保木輝雄先生が毎日稽古つけてくださっただけでなく、よくお名前が出ると思いますが、名誉師範の志藤義孝先生、菅沼鳳雲先生もちょくちょく道場に、そして寒稽古に毎年顔を出してくださる現在八段の長尾進先生は非常勤講師で、週1回稽古ができました。（当時は20代の青年剣士）本当に恵まれていたと思います。

塩入先生から学生時代に聞いた話です。「私が東京教育大学（今の筑波大学）の大学院に進学したとき周りは体育科卒ばかり、自分は文学部英米文学科だったし体も小さく一番下手くそだった。すぐには無理でも80歳になった時にこの中で一番強くなろう、そういう稽古をしていこうと決心した。」今、先生は78歳だと思います。どんな状況なのでしょう、今度お会いしたら聞いてみたいと思います。年に1回程ですが、塩入先生に掛かっていくのは今でも恐ろしく、気持ちが怯み、気がつくとは最後は掛かり稽古になっています。

塩入先生の著書『鍛えよ 心優しく』（島津書房 平成19年初版）があります。これを読んでもいただくことで私の大学時代の剣道を知っていただけたと思います。剣道を教わっている先生（私のこと）を指導した人がどんな人か、どんな考えで剣道に向き合ってきたかを知るのには意味のあることかと思えます。この本のサブタイトルが「剣道から教わる生き方と教育のあり方」となっています。よかったらお貸ししますがこんな状況です。書店にもあるかと思えます。ご一読をお勧めします。

Slackに「本荘先生は小さい時から試合に出れば常に勝っていたのだと思っていた」というような書き込みをいただきました。それを読み振り返ってみました。小中学校はもちろん、高校大学でも個人戦で入賞し賞状をもらった記憶がありません。団体戦では高校以降何度かあります。先ほどの写真の時もたしか優勝しました。（それでもちょこちょこ数えるほどです。）初めて個人戦で入賞したのは社会人になってからだと。そんなものなのです。繰り返しますが、剣道は長く続けることで大きな財産になります。塩入先生のように80歳で一番に、と私は言えませんが、できるだけ長く子どもたち（OB・OGそしてお父さんお母さん剣士を含めて）に負けないように楽しく剣道がしたいと思っています。結局長くなってしまいました。お会いできる日を楽しみにしております。



17ページからの「休校中にできるようになったこと」を読んでとても感心しています。引き続きやれることをがんばろう！

剣道と出会った頃の話

尾島 寿子

私が小学5年生の時、テレビドラマ「おれは男だ！」が放映されました。原作は津雲むつみの漫画です。

青葉学園高校を舞台にした青春ドラマです。元女子校だったが共学になり女子優位な高校に2年生の時に東京の男子校から親の転勤で転校した来た小林弘二(森田健作…当時19歳、現在千葉県知事)。女子の「ウーマンパワー」に打ち勝つ為に悪戦苦闘します。小林は剣道同好会を立ち上げるがバトンクラブの部長吉川操(早瀬久美)や女子とバトルを繰り返します。主題歌は「さらば涙と言おう」歌は森田健作(通称モリケン)。



オリジナルサウンドトラック表紙より

モリケンに憧れ、当時主題歌を含め2枚組のLPレコードが発売され欲しくて親にねだったところ快諾してもらえず…考えれば高価な物です。容易くOKなど出来ません。期末試験を頑張る!!!という約束で猛勉強をして買ってもらいました。

その次は会いたくて、川越のまるひろ百貨店にモリケンがイベントで来るというので会いに行きました。その次は剣道がやりたくなりました。

しかし…姉が中学高校大学とバレーボール部だったこと、当時日本の女子バレーボールは世界選手権大会で優勝するほどの全盛期で当然の様に、姉を知っていた中学の担任・バレー部の顧問・親の強い勧めでバレー部に入部となりました。

ももんとした中、親・担任・顧問にやっとの許しを得て剣道部に転部したのが中学1年の2学期でした。女子の剣道人口はまだまだ少なく川角中学校剣道部女子初代にあたります。女子団体戦は3人制で蹲踞は左膝をつき、右膝を立てて行っていました。今の蹲踞の形とは異なります。

体育館で場所を半分使用していたバスケットボール部の男子先輩から初めのうちは馬鹿にされました。「下手くそ!」と。悔しくて家での素振り、打突練習、ランニングを毎日毛呂山剣友会にも入会しました。その頃の小学生剣友会剣士はとて強くて「突き」も稽古に取り入れていました。

1年生の時の剣道部顧問は、あまり部活に参加されず、部員は裸足で校庭をランニング、電気椅子(壁に背をつけ膝を90度立て両腕を床と水平にする、長い時間行くと足がけいれんするのです)、うさぎ跳びなど行っていました。膝によくないので今はやらないでくださいね。面は着けず、打ち込み棒での打ちが多く、たとえ面を着けても痛い打ちを無理やりやる男子がいました。

2年生になると埼玉大学卒業の久保先生(本荘先生の先輩)が顧問となり部活動の内容が一変しました。昼休みは逆立ち、砂を入れたビール瓶で片手素振り。練習試合も多く持ってくださいました。昔は自家用車も持っている家庭は少なく、移動は防具を持って自転車や電車を使っていました。久保先生は、稽古は厳しかったのかもしれませんが(あまり辛いという思いはありませんでした)凄く優しく兄の様な存在でもありました。

埼玉大学剣道部の学内の合宿にも参加させていただきました。当時の大学生男子はふんどしを着用して稽古していてビックリしました。お父様が警察官の同期の女子がいて、警察の道場の稽古に連れて行っていただいたこともありました。内容はきつかったですね。そして卒業するまでには地区で優勝し団体でも県大会に出場することが出来るようになりました。久保先生とはその後埼玉大学の寒稽古や毛呂山剣友会の越年・暑中稽古で再会しています。

当時を振りかえり思うことは、環境は時間をかけて変えてゆき、自然と変わってもゆき、夢は叶えるために動いてみる。悔しさもバネになる。周りに支えてくれる人が必ずいます。

「人より後れをとっていると感じる時は、自分が後れをとっているのではなく、遠くへ飛ぶために助走をより後ろから始めているのです。」*韓国のミュージシャンの<大切な言葉から>の引用。素晴らしい言葉です。

今まであった生活はやはり特別なもので、無いと不自由で、有る事の有難味を強く感じます。

駒剣が自主練チャレンジで繋がりみんなの頑張りが伝わり、みんなを元気にしています。私は細々と200本素振りに努めています。今度会う時には駒剣士は心身ともに大きくなっていると思います。楽しみにしています。

追伸

あれだけ剣道をやることを反対していた今は亡き父ですが、隠れて？娘の自慢話をしたり、私の自主練を嬉しそうに見たりしていたようです。

その後

山田 節男

皆さんその後いかがお過ごしでしょうか。変わりなく元気にお過ごしでしょうか。

先月号に引き続き近況報告です。4月は1日だけ会社に行きましたが、そのほかはずっと在宅勤務でした。毎朝夕のウォーキングと素振りは続けています。毎日同じ通りですから家々の丹精（たんせい）している花を見て楽しませていただきながら歩いています。あるお宅では優雅に白い花を咲かせていたシャクヤクが終わったと思ったら、待ち構えていたクレマチスが紫の花を見事に咲かせ始めました。となりでは牡丹が次の出番を待っています。つつじはあちらこちらで白やピンクの花をいっぱい咲かせています。マスク越しに羽衣ジャスミンのいい匂いがしっかりとしてくるので、ああ、この辺りまで来たかと気づきます。上を見上げると柿の若葉のうすいきみどりから太陽の光がキラキラとすけて見えています。通りの先を見るとすつくと駒剣士のように背すじを伸ばしたハナミズキの木が整列して白やピンクの花を空に向かって咲かせています。バラもオレンジや黄色の花を豪華に咲かせ始めました。あちらには藤の花のうすむらさきが見えています。よい気候になってきました。

しかし、先日のニュースでは、バラ祭りで有名な与野公園のバラのつぼみを摘み取る（つみとる）様子が紹介されました。その数日後には、福岡の八女市で見事な藤棚（ふじだな）の花をすべて摘み取ったことが紹介されていました。どちらも花を観賞する人が集まることを避けるために摘むことにしたそうです。摘み取られた花、摘み取った人、そして花を楽しみにしていた人、それぞれの思いを想ってニュースを見ていました。



さいたま観光国際協会 HP より

剣道のさまざまな大会、行事が中止になっています。学校の登校もまた延長されたようです。学校に行けない状態が続いている皆さんはつらいと思います。友だちと会えない、学校での授業が受けられない。いろいろなことがいつできるのかわからない不安と不満が続いていると思います。たいへんな時に親しい人と会ってはげますことができないのがこの騒動のつらいとこ

ろです。私は5月も会社に行くのは1日になりそうです。このこまけんだよりが発行されるころは5月5日のこどもの日はもう過ぎているのでしょうか。こどもの日は、国民の祝日に関する法律では「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。」日となっています。こどものためと同時に母に感謝する日なのです。私は数年前まで知りませんでした。「母に」となっていて父がでていないのはお産という一大事が母にだけあるからでしょうか。だれもみな母がいます。すでに亡くなってしまった方もあるいは離れている方もいると思いますが、それぞれの母がいて父がいて生まれてきたことはまちがいありません。この世に出してくれた人、大切に思ってくれている人のおかげでここにいるのです。

今、誰もが大変だと思います。誰に文句を言えばいいのか、なんで学校に行けないのか、剣道ができないのか、自由に動けないのか、家の中でも心おだやかに過ごせない日があると思います。

それでも私は、今日ご飯をいただいてウォーキングをして素振りをして在宅勤務をしてもう少ししたらふとんに入ることができます。いまこの時間にも広く医療（いりょう）に関係する方は働いています。今日も明日もスーパーをはじめ生活に必要なと言われるお店で働く方は、お客さん、つまり私たちが買い物に行くために働いてくれています。同じように私たちが生活していくことのために働いている方はたくさんいます。さっき我が家に品物を届けてくれた配達のかたもそうです。皆さんの知っている方、お母さんやお父さんや家族の誰かかもしれません。皆さん感染の怖さに立ち向かってその場所に立ってくれています。すべてのその方たちのおかげで今日も無事に過ごせました。その方たちへ心からの感謝の気持ちを伝えたいと思います。いろいろなことが中止、あるいは延期されています。しかし、ウイルスの感染が収まらない限り私たちの力ではどうしようもないこととして受け止めるしかないと思います。自分たちの力ではどうしようもないことはそのまま受け止める、そして自分のできることは着実にやる、これ以外にできることはないと思います。そして、その中で同じ環境でも働いてくださっているすべての方へ、どうしようもない環境の中でがんばってくれているすべての人へ、それは、皆さんのお父さんお母さんあるいはその他の家族に対しても同じです。感謝する心を持つことで心のゆとりを持つことができると思います。誰もがこの困難の真ただ中にいるのです。もうしばらくがんばりましょう。稽古ができるまで、感謝と辛抱（しんぼう）と自分にできることを続けて。



新ジャイアンのはなうた♪



よっ！ みんな、元気か？
あっという間に1か月たってしまったな。
時間があると思っていたのに、この1か月で何ができたかという、何もできてないような気がするの
は、ジャイアンだけかな？

「少年老い易く 学成り難し」(しょうねんおいやすく がくなりがたし)って言うけど、本当にそうだな。

ところで、これは、中国の朱熹(しゅき)っていう人の偶成(ぐうせい)っていう詩の始まりの部分なんだ。このあとに続く「一寸の光陰 軽んず可からず」(いっすんのこういん かるんずべからず)っていう部分も有名だよな。

意味は、「まだ自分は若く、時間があると思っても、あっという間に年を取ってしまい、学問はなかなか完成しにくい。だから、少しの時間でも大切に使うべきで、いいかげんに使ってはいけないぞ」という内容だぞ。

今、学校にも、遊びにも出かけることができない状況がつづいていてやんなっちゃうかもしれないけど、考え方をかえてみると、こんなに時間を使えることは、めったにないことだぞ。だから、この機会を上手にを使って、色々なことができるんじゃないかな？

例えば、ちょっと大きめのプラモデルを作ってみるとか、パーツがいっぱいあるジグソーパズルだとか、本立てのキットを買って作ってみるとか……、普段、ちょっと挑戦するのは難しいかなって思うものに挑戦してみるといいんじゃないかな？ 夏休みの自由研究にはちょっと早いけど、昆虫や植物を育てて記録をとってみるのも面白いかもな。夏休みだけだと日数が限られちゃうけど、今からなら、夏休みの倍くらいの日数で観察できるよな。それから、興味のあるものを色々調べるっていうのもありだよな。

以前、みんなの先輩で、うずらの卵からヒナをかえた人がいたけど、そんなことができたら楽しいよな。

ところで、さっきの詩、剣道にもあてはまるような気がするな。時間があるから、あとで素振りしようなんて思っていると、どんどん時間が経って、結局素振りをしないで一日が終わっている人、いるんじゃないかな？ そういう人には、時間を上手に使うすごいコツがあるから教えてあげるぞ。それは、林先生の、「いつやるか？ 今でしょ！」なんだ。

なかなか素振りができない人は、今すぐ、竹刀を持って素振りをしよう。次の日も、いつ素振りしようかなって考えたら素振りをするようにすれば、きっと毎日続けられるぞ。そして、毎日素振りをしていれば、稽古再開の時には、きっと、前よりもすばやく、力強く、竹刀を振ることができるようになっているはずだぞ。逆に、素振りしていない人は…… どうなるか、わかるよな。

え？ ジャイアンは素振りしてるかって？

実は、あんまりできてないな。でも、今から素振りするぞ！！

じゃあ、またな！

太郎の百錬自得



第74回

思っている以上に長びいてきました、このコロナ騒ぎ。世の中は大変なことになってきました。私といえば、基本は在宅勤務の日々です。テレビ会議にも慣れてきました。テレワークの流れはコロナ騒ぎが収まっても戻らないような気がしますね。

それはさておき、素振りチャレンジも第2回まで無事に終了し、その後もコンスタントに素振り続けている駒剣士が多くて、本当に感心しています。素振りについては私も先生にアドバイスをもらいました。今回は、私の先生からいただいたアドバイスを簡単ですが、紹介させてもらうのと、剣友である笹川さんのトレーニング動画を紹介させていただきます。

まずは先生の素振りアドバイスから。

素振りというか、まいにち1分でも5分でも竹刀や木刀を持って手の内の感覚を確かめる、それだけで稽古への意識がつながる。

一眼二足三胆四力、をまず意識する。

つまり、視線を一定にし、首筋を伸ばす、両足の体重のバランス、ひじ、腰、腹の力の入れ具合をチェックしましょう。

その体勢を崩さずに足捌き、膝から下の部分を意識して。足の動きと丹田の協調を意識できるでしょうか。

左手主導で振りかぶり、腰肚を前進させるのに合わせて正面を打つ、十分に左足を引きつけること。打った姿勢をしばらく保つ。また構えて繰り返す。

要は身体つながりを意識できるか、竹刀が身体の一部と意識できれば良い。上虚下実、正確な冴えた振りを求めましょう。

同じ要領で左右面打ち、余裕があれば日本剣道形の一人稽古も良い。

とのことでした。ぜひ参考にしてください。

お次は、私の剣友で出版もされている笹川さんのトレーニング動画も紹介します。私もたまにやっていますが、すっきりしますよ。

肩甲骨のトレーニング

<https://youtu.be/DlChIp7nvk0>

肩のトレーニング

<https://youtu.be/TojkeE6b01jM>

手首のトレーニング

<https://youtu.be/8kMRYxtb7Nw>

下肢のインナーマッスルのトレーニング

<https://youtu.be/9hqDH42s6uE>



第1回が5月2日(土)
に開催されたそうです☆

それから、オンライン飲み会なども結構盛んになってきているようです。実は駒剣でもオンラインパーティでもできないかなと画策してます。

事前準備としてぜひ、zoomの準備をお願いしたいと思います。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html> Slackを要チェックですよ！それでは。#komaken



錬成部トレーニング紹介



中学校で部活動の指導をされていた廣江さんからです。
小学生も中学生もチャレンジしたら、slackで報告してみよう！

何か皆さんの役に立てることはないかと考え、中学生向けにトレーニングメニュー例を紹介します。
＜本中の全中出場選手達が行っていたトレーニング一例＞

1 素振り

(1) 手刀の素振り 20本

左右の肩が水平になっていることを意識して

(2) 重い竹刀で正座正面素振り 50本

竹刀にバラの竹刀の柄を切り取ったものを1本～3本位ガムテープで頑丈に貼り付けたものを使用。体幹を意識してゆっくり振る

(3) 重い竹刀で四股素振り 50本

腰を落とした四股の態勢で尻まで振りかぶって、ゆっくり上下素振り

(4) 普通の竹刀で足を引き付ける素振り 20本

右足前で膝の角度が90度になるまで腰を落とし、左足は膝が床すれすれになるまで下げ、竹刀は尻につけた状態から上下素振り。強い振り降ろしと同時に左足を思いっきり引き付け、完全に静止する。20本終わったら左右の足を交代して20本。弦を下にして振るといい音がして気持ちが良い

(5) 木刀で上下素振り 2挙動20本、1挙動20本

2挙動は右足が前に出る時に振りかぶり、左足を引き付ける時に振り降ろす。1挙動は右足が前に出る時は、中段の構えを崩さず、左足を引き付ける時に素早く上げ降ろす、という考え方。いずれも上段の高さまで振りかぶり、一本一本しっかり打ち切る。

(6) 木刀で正面素振り、左右面素振り

※(5)と同じ

(7) 木刀で早素振り

一本一本打ち切って止める30本、とにかく早く50本



2 トレーニング

(1) ラダートレーニング

もも上げ、両足跳び、ケンケン跳び、ケンパー跳び、ツイスト跳び、横跳び、カニ走り、剣道の足さばき跳びなど、適当に楽しく

(2) ゴム跳び

カラーコーン2つにパンツ用のゴムをくくり着ける。正面から両足で跳び、すぐに振り返ってまた跳ぶのを連続3往復。同じく横向きで連続3往復

(3) 30M ダッシュ

全力

(4) 鉄棒ぶら下がり

掛け算九九を全部言い終わるまで。慣れてきたら九九八十一からバックして言う

※(1)～(4)をサーキット式で繰り返す。

3 おわりに

今は、このような厳しいトレーニングをさせる先生はあまりいませんので、新中1の皆さん、安心してください。自分に合ったものだけをチョイスして、気が向いたら試しにやってみてください。特に重い竹刀は、まだ体ができあがっていない人には不向きです。

弘光の竹刀

須山 勉

大切にしている剣道具はいろいろあるのですが、先月のこまけんだよりで「オタクっぽい雑談」を書きましたので、続編のつもりで「弘光(ひろみつ)の竹刀」をご紹介します。何年か前、駒場剣友会のホームページ内に書き込んだ内容と重なる部分がありますが、ご容赦ください。

■国産の竹刀が消えていく

竹刀は日本で生まれたものですから、昔は竹刀を作る職人さんが日本各地におられました。しかし今や、竹刀の9割以上はインドネシアなど海外で作られています。日本で竹刀を作って生計を立てている職人さんは数人、とも言われています。

どうしてこんなことになったのでしょうか。

これは竹刀に限りませんが、国内よりも海外の方が安く、機械を使って大量に生産できるようになったからです。職人さんから竹刀を買い取って店で売る剣道具屋さんにとっては、安い方が売れるし、たくさん売ればもうけも大きい。一本一本手作りする竹刀は大量生産ができませんし、ある程度の値段で買い取ってもらわないと職人さんが生活していけません。海外製の竹刀におされ、日本の職人さんはどんどん仕事をやめていきました。

材料の問題もあります。昔はかさ、うちわ、ものさし、ざる……といった生活用品に竹が使われてきたため、竹を専門に扱う竹材業者がいました。ところが今はすべてプラスチックなどに変わってしまい、いい竹が生えていても、切って売ってくれる専門業者はわずかです。切らずに放置され、荒れてしまう山も少なくありません。

竹刀にもカーボンで作られたものがありますが、さすがに買う人は少ないようです。一般の竹刀には台湾や中国の桂竹(けいちく)が使われ、高級品には真竹(またけ)が使われます。ただし剣道具屋さんのカタログで「真竹」とだけ記されている竹刀は、ほぼ海外産の真竹を使っています。「国産真竹」と記されていても、日本でとれた真竹をわざわざ海外の工場に送り、海外で作ったものを輸入しているものが少なくありません。それでも一本1万円以上するものがたくさんあります。

海外で作られた竹刀でも、国産より長持ちするものはあります。ただ大量生産という流れができ、作り手の「顔」が見えにくくなるにつれ、竹刀を大切に扱う人が少なくなってきたと感じています。昔の侍は自分の刀を大切にしていました。その流れをくむはずの剣道家の中には平気で竹刀をまたいだり、放り出したり、竹刀袋に入れっぱなしにしている人がいます。竹刀で床をたたくような人もいます。「竹刀なんてどれも同じ」「使えなくなったら買えばいい」といった程度に考えているのではないかと、思えてなりません。日本で生まれた竹刀作りの文化を絶やさないためにも、多少値段は高くても国産の竹刀を持つことが、剣道をしている人たち(特に大人の有段者)の責務ではないでしょうか。

■日本一の竹刀職人は草加在住

この埼玉に、「日本一の腕前」と評される竹刀職人さんがいます。草加市にお住まいの西野勝三さんです。ご実家は大分の竹材店で、西野さんは高校生の時に上京して「弘光」という銘の竹刀で知られた職人さんに弟子入り。今年80歳になるので、もう65年くらい竹刀を作っていることになります。全盛期は1日で10本以上作っていたそうですが、最近は「健康のためにやっている程度」。それでも製作は続けておられます。

わたしが初めて西野さんの工房を訪れたのは、10年近く前ででしょうか。竹刀を削っていて、ササクレが手に刺さる経験をお持ちの方は少なくないと思いますが、西野さんは素手でどんどん竹を削ります。その姿にまず圧倒されました。なによりも完成した竹刀の姿が美しい。数カ月に1回くらいのペースでうかがっては1本、2本……と竹刀を購入しています。「もうこうした竹刀が手に入らなくなる」という思いがあるのですが、実は根っからの職人である西野さんのお話をうかがう方が楽しみで、話をうか

がうだけで帰ってくることもあります。使っていない西野さんの竹刀は自宅に30本くらいあり、乾燥を防ぐために買った日付を書き込んだポリ袋に入れて保管しています(写真1)。古いもので5年以上たっており、ときどき袋から出してスピンドル油で磨いています。

西野さんの竹刀には先代から受け継いだ銘「弘光」のほかに、その竹の産地が彫り込まれています(写真2、焼印の『弘光』という文字の下に記されているのは花押)。産地は豊後(大分・竹田)、久慈川(茨城・大子)、北上川(宮城・登米)の3種類あり、もっとも寒い北上川産の真竹が「一番硬くて、タメが大変」だそうです。竹は地面から真っすぐ生えているように見えますが、どんな竹でもだいたい曲がっていて、火であぶってたわめながら真っすぐな形にする作業を「タメ」といいます。西野さんによれば、竹刀作りで最も難しいのがタメで、タメが甘いと竹刀を使っているうちに竹と竹の間が開いてきます。西野さんは、竹が「ピキピキ」と悲鳴を上げるまでしっかりとタメます。下手な人がやると折れてしましますが、限界までタメることで、何年たっても開きが出ない竹刀になるそうです。

■客に合わせるのではなく、竹に合わせる

最近竹刀の重さだけでなく、左右の握りの太さなどをミリ単位でオーダーしてくる剣道家も増えました。西野さんもこうした注文に応じていましたし、その技術も持っているのですが、最近はなるべく断っているそうです。竹には重さや硬さなど一本一本に個性があり、重さや太さに合わせようとすると削らない方がいい部分まで削らなければならない、それではいい竹刀はできない——という考えからです。竹の個性に合わせた竹刀をたくさん作っておいて、お客さんに気に入ったものを選んでもらう、というのが基本スタイルです。

また、昔の竹刀は「物打ち」部分に太さや厚みがあり、使い手が稽古をするたびに磨いたり削ったりして、だんだん自分の手に合わせていくものでした。しかし、いまは先が細い竹刀が流行しています。西野さんの元にも、ある八段の剣道家が、手元が太く先が極端に細い竹刀を持ちこんで「これと同じものを作ってほしい」と依頼してきたのですが、西野さんは「こんな、ヘビがタマゴをのんだような形の竹刀は竹刀ではありません」と断ったそうです。

わたしが保管している竹刀のうち、変わったものでは紫色に染められた「影法師」という銘の竹刀があります(写真3)。竹を染めるには染料で煮る、いぶすといった方法があります。いぶした竹刀は今も販売されていますが、色落ちが早いそうです。この竹刀は西野さんの実家の竹材店が20年以上前、特にいい竹を選び、染料で煮ては乾燥させ、煮ては乾燥させ……と5回くらい繰り返して、紫色に染め上げたものだそうです。とても手間がかかり、竹刀のためにこんな作業をする業者はもういません。西野さんによると「その道場で一番偉い先生が一目でわかるように作られた竹刀」とか。稽古に使うにはもったいないので、たぶん死ぬまで使わないと思います。

西野さんは竹刀作りの伝統を絶やしてはいけないという思いから、真剣に「竹刀作りを教えてほしい」と志願してくる人には惜しげもなく自分の技術を伝えてきました。ですから全国に弟子がいますが、みなさん別の仕事を持っていたり定年退職後だったり、竹刀作りで生計を立てている人はほとんどいないようです。

科学技術振興機構という団体がさまざまな「モノ」ができあがる過程を紹介する動画を無料配信しています。ここで竹刀の実演をされているのが西野さんです。ご興味があったら、「最後の竹刀職人」の仕事ぶりをのぞいてみてください。

<https://sciencechannel.jst.go.jp/B980601/detail/B070601237.html>



写真1



写真2



写真3

残念だったけど受け入れました

渡辺 良平

「残念だったけど受け入れました」と言っても、今の中体連の夏の大会が新型コロナウイルスの影響で無くなってしまった事ではありません。ちょうど今から40年前の今頃の話で、良平先生が高校3年生の時の話です。

当時、良平先生が通っていた高校の剣道部はどういう訳か伝統的に顧問の先生が剣道未経験者ばかりでした。しかも、高校の校舎が夜間高校と共同で使用していたので部活動は5時までで、5時30分には全校生徒が完全下校と決められていたので、一部の校外で練習場所が確保できている部活は別として、土曜日以外は毎日1時間程度しか部活動はできませんでした。

短い稽古時間に加え、指導する顧問の先生がいない状態で「先輩が、後輩を指導する。」だけの環境でも剣道が好きな生徒だけが部員でしたので上手いか下手か、強いか弱いかは別問題としてみな一生けんめいに稽古していました。

そんな中で、良平先生は強くなりたかったので毎日の様に仲の良い友達と2人で学校での稽古が終わってから日替わりで2つの道場に「こんにちは！」と言って無料で通っていました。根っからの剣道バカでした。今では許可されませんが、お金が無かったので、ささくれた竹刀にビニルテープを巻いた竹刀ばかり使っていました。

そんな努力が実ったのか、高校2年秋の阪神大会（尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市の32校が参加）の新人団体戦で準優勝（優勝は報徳学園）し、県大会は1回戦負けしましたが、次の春の阪神大会では3位と好成績を残していました。

そして、高校生活最後の夏の県大会では優勝は無理でも上位数校が参加できる近畿大会出場を目指して仲間と共に猛練習を続けました。大会は6月にある予定でした。各校1名の個人戦も良平先生が出場の予定でした。

しかし、5月半ばになっても、6月になっても顧問の先生から県大会の日程の説明がなく、何度も先生に「参加申し込みはいつですか？」と質問しても「案内がまだ来ていない。」との返事でした。

そして、ある日後輩経由で「先生から聞いたんですが、案内はとっくに到着していたけど、封筒が他の書類と混ざっていて分からなかった。参加申し込み期限がとっくに過ぎてしまっているらしいです。」と聞かされました。

それで、ムカムカーッと腹が立ってきて一緒に頑張っていた友達と二人でその先生に抗議をしようと職員室へ行きましたが、先生から先に「ごめん。申し訳無い。」と謝られたので、何もできませんでした。

悔しくて、悔しくて、腹が立って、腹が立って、そんな事を受け入れることがなかなかできませんでした。でも今更どうする事もできない、こんな中で良平先生の高校時代の剣道部生活は終わりました。

不完全燃焼で終わってしまった現役、それでも1期下の後輩も強かったので指導しようと受験勉強もそこそこに稽古を続けていて罰が当たったのか“左目”を怪我して、高3の夏休みは病院で過ごしました。

おまけに、この先生は秋の昇段審査の申込書も無くしてしまい2段の審査を受けたのは浪人が決まった翌年の3月でした。まさに高3は踏んだり蹴ったりで不幸の連続でした。

当時、全国大会に出場が決まっていた学校で大会前に部員或いは、部活動に関係の無い生徒が悪さをして出場停止になった学校がありました。今では余りそのような話は聞きませんが、昔はそのような話が珍しくはありませんでした。でも恐らく顧問の先生のミスで地区予選にも出場できなくなった学校の話は聞いたことも無いし、想像も出来ません。



今年、中体連、高体連の夏の大会が無くなってしまいました。 “自分の学校だけ、自分だけ”ではなくて日本全部の中学校、高等学校が同じ条件です。良平先生のように、誰かのミスで自分の学校だけが試合に出られなくなった訳ではありません。

大きな目標、楽しみが一つ無くなったのは本当に残念なことで、同じようなことを経験している中3、高3の気持ちは良くわかります。本当に残念なことです。

普段の稽古では、「ど～～！」、「ど～～！」とばかりわめき散らしている胴平のキャラクターからはちょっと想像できないかもしれませんが、神学者でニーバーという人がいました。

そのニーバーの言葉で、『ニーバーの祈り（いのり）』というものがあります。

この『ニーバーの祈り』しか知りませんが、それは

『神よ、変えることのできるものを変えただけの勇気を我らに与えたまえ。変えることのできないものを受け入れる冷静さを与えたまえ。そして、その二つを見極める知恵を下さい。』

まさに今考えなければならぬ世の中の状況そのものです。

職員室へ先生に文句を言いに行った時、“どれだけ文句を言ってももう試合に出ることはできないんだ” “現状を変えることはできないんだ” と頭の片隅で冷静さを保っていたのかなと、今では笑い話です。

いずれ時間が忘れさせてくれると思いますが、中学生、特に3年生は『変えることのできないものを受け入れる冷静さ』を考え、来年以降の高校生活で思うぞんぶん毎日剣道をして疲れ果ててはまた明日も稽古をしている自分の姿を想像してみてください。

来年の今頃はきっと「去年は残念やったね！」と新しい仲間と笑っていると思います。

わたしが剣道と出会った頃

お稽古休止中特別企画です(^o^)。誰もがスタートは初心者。

もっと知りたい人は今度会ったときに詳しく聞いてみよう～！

小澤さん

私が初めて剣道に出会ったのは、中学1年生の時でした。あの頃の中学の部活はかなり厳しく、部活じゃなくても先輩にすれ違う度に、挨拶をしないといけない日々でした。そんな時代だったんだと思います。

そんな時、中学に新しく剣道部が出来るという話を聞いて、昔からなんでも興味があることはやってみたい性格で、剣道に興味をもち始めてみました。思った以上に稽古は厳しく上手く出来なかった思い出しかありません。でも、みんな初めてのメンバーだったので、一生懸命だった気がします。けれど、それからちょっと顧問の先生といろいろあって、途中で剣道は辞めてしまいました。

私は子供たちに自分が剣道をしていたことを話したことはありませんでした。ですが、長女が中学で剣道をやりたいと剣道部に入り、そして次女がやりたいとなり駒剣でお世話になりました。息子が駒剣で剣道を始めたとき「やっぱりもう一度やってみよう」と思い、もう一度始めました。実は、二度とやらないと思っていたぐらい辛い記憶しかなかったもので、人生って不思議です。

大人になって剣道を始めて、段審査があることを知りました。私は本当に何も知らなかったんだと今ではつくづく思います。

今も、上手にならない自分にイライラしたり、やはり疲れていると、やりたくない〜と思ったりする日も多いです。毎回自分との葛藤でもあります。先日二段が取れた時には本当に嬉しかったです。

先生方、そして一緒に稽古してくれる駒剣の剣士には本当に感謝しています。今は、コロナでちょっと剣道から離れてしまっていますが、また始まりましたら、少しずつ稽古を頑張ろうと思っています。

みんなの自主トレの毎日には、本当に驚かされています。私は、ちょっと今はお休みという感じで、やりたい時にやる感じています。でも、いつでも戻れる剣道に感謝しています。また、一緒に稽古が出来る日を楽しみにしています♪

轡田さん

私が剣道と出会ったのは、中学1年生の部活見学の時でした。初めて見た剣道の迫力と格好よさに衝撃を受けて、友達を誘うも断られ（泣）、他の1年生にも先輩にも知り合いが一人もいなかったけれど、迷わず入部を決めました。初心者は私一人だったので、最初のうちは早く周りに追いつきたい気持ちと、できることが増えていく楽しさでいっぱいでした。

私が一番剣道を楽しんでいるのは多分この頃だったと思います。後に稽古が辛くて、先生も怖くて、「えらいところに入部してしもた！」と若干後悔する時もありましたが、色々な経験を経て、やっぱりあの時迷わず剣道を選んで良かったと思っています。

そして、時がたって駒剣の皆さんのおかげで、また剣道を始められたことに感謝しています。今のこの状態が一日も早く落ち着いて、皆さんとまたお稽古ができることを楽しみにしています。

関口先輩

剣道を始めのきっかけは小学5年生の頃、同級生の石井君から『剣道教室に一緒に行こう』と誘われて、同じく同級生の大野君も一緒に駒剣の剣道教室に参加し、そのまま駒剣に入った訳です。

入会の理由はもちろん『剣道も楽しい！続けたい！！』と思ったからです。しかし、それ以上の決め手になったのは次の2点でした。

- ①剣道教室で一緒に練習した仲間達がとても良い人達で一緒にいたいと思ったから。
- ②先生方（当時は丸山先生、菅原先生、杉山先生、山崎先生が中心）は厳しい中にも優しく剣道を教えて頂き、先生方の人柄に惹かれたから。

私にとっての『剣道＝駒剣』という思いは小学5年生時に構築され、現在の『駒剣愛』に至ります。（笑）

この原稿を書いていて、人との出会いの大切さを再認識しました。

現役の駒剣士のおチビちゃん達も駒剣の仲間や先生方、お父さん、お母さんとの出会いを大切にしてくださいね！！



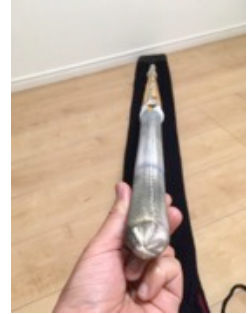
大切にしている剣道具紹介

近藤千恵子さん

剣道具全部大切にしていますが、特に小手を大事にしています。
学生時代に右手首を手術して保護しないと再発してしまう為、剣道具屋さんをお願いして右小手の内側にクッションを入れて作ってもらっています。
穴が開いたり、ほころびが出来たりする度に何度も早めに修理してもらい、1つの小手を何年も大事に使っています。ちなみに3、4、5段は同じ小手で通りました。
先日、頑張ったご褒美に旦那様に新しい小手を新調してもらいました＼(o)/

葛西さん

柄が八角形の古刀型竹刀。しなりがあまり無くて力がストンと伝わる感じが好きでずっと使っています。



錬成部おすすめ YouTube



こんなときだからこそ世界中に発信されているスバラシイ剣道動画を堪能しましょう♪

武笠さん “神奈川県警察剣道特練の基本稽古風景 (KanagawaPoliceKendo2011)

<https://youtu.be/y4aWQH0zvHk>

剣道を始める前からお気に入り、たまに見ては痺れています。

同じ剣道はできないけど、気迫や声など参考にしています。

葛西さん 『剣道三段五段』チャンネル
皆さんお馴染みかと思いますが…

関口先輩 『剣道総合サイト LETS KENDO』チャンネル
小学生から社会人までの幅広い年代の試合を掲載しています。
強い選手やチームの試合を見るのは勉強になります。

石井（由）さん 『百秀武道具店のウガ店長』チャンネル
5/1～10 10days SUBURI challenge というのをやっています。

良平さんの鰐物語

毎年、六送会で卒業生に贈られる木刀の鰐。その裏話を教えていただきました。
中1の皆さん。駒剣の六送会は必ずあります。そのときまた会いましょうね!!!



昔の卒業生へ送った鰐です。素材は輪島の友禅染和紙です。卒業年度によって異なりましたが、5～6年こんな感じでした。



卒業生の記念の鰐ですが、桜の時期に何故？紅葉？と思われる方は多いと思います。



桜も紅葉も散る前が一番綺麗で、特に卒業、進学
の時期なので桜の花弁で鰐を作りたいと、実は3～4年
かけて何度も桜で作るのにトライしたのですが、左の
写真の様に綺麗に花弁を表現することができず.....。

住んでいるマンション前のソメイヨシノ、本太中の
道路沿いの桜、種類は解りませんが駐車場の奥の桜は
色が濃くて良い色をしているので沢山拾い集めて帰っ

て、すぐに押花をして素材として試しましたが、写真の試作品程度の仕上がりでした。何故で
しょう？紅葉も桜も押花の処理を施すのですが、押花の仕方が悪いのかな.....？

押花も色々試しましたが、改善できず諦めました。

紅葉も当初は今の様な綺麗なものではなく、秋に紅葉した葉に着
色しようと食紅で染めたりしましたが、どうも不自然な赤色になっ
てしまいました。

5年ほど前の夏に紅葉の新芽、若葉が赤くなっているのに気付いま
した。それを押花にして鰐を試作したらとても綺麗に紅葉の赤を表現
できました。

それが、ここ数年の記念鰐です。

まだ改善の余地がありますが、これからも毎年作り続けます。





休校中にできるようになったこと



お稽古も学校も休みが続く中、駒剣士のみんなはそれぞれのおうち時間を過ごしているようです。毎日変わらないように確実に成長し、できるようになったことがあるはず！というわけで質問してみました。「休校中、できるようになったことはなんですか？」
剣道再開、学校再開が待ち遠しいね！

秋本くん

毎朝、自主練を自発的にやった。
振り下ろしの早い素振りを心がけた。
木刀素振りをした。足さばきをした。
手刀で素振り。
そんきょ相撲111戦以上(負け越したけど…)。
ブルガリアンスクワット888回以上。バーピージャンプ222回以上。
腕立て伏せ222回以上。階段ダッシュ11111段。
家の手伝い2ヶ月間毎日。
家で勉強をした。
ミッキー型クレープを焼いた(失敗してたby 姉)。
マグロ寿司をにぎった(旨かった。本人談)。
植物(豆)植えた。
microbitとScratchに熱中。
数独に挑戦中。
キャッチボールをした。
動画授業を見た。
ダッシュをした。
アマゾンプライムを見た。
マスクを作った。
毎日、検温。
以上、僕の2ヶ月です。みなさんに会えなくて寂しいけれど、お稽古再開まで色々なことにチャレンジして頑張ります！



加藤くん

『出来るようになった&レベルアップしたこと』
○#自主練のおかげで素振りが習慣付いたこと
○YouTubeで動画検索(キーボードタッチ)するスピードが早くなったこと
○ニュースをみる時間が長くなったため、時事問題に関するポキャブラリーが増えたこと

上岡くん

- ・片手素振りを以前は20本ワンセットと区切らないとできなかったが、続けて100本振れるようになった。
- ・トランプタワーが出来るようになった。

俵くん

素振りに関しては正直言って自発的ではなく、声がけしないと気づかない時もあり何とも言えないのですが…。柔軟やストレッチ、筋力トレーニングはできる日はやっていました。特に柔軟においては身体がかなり硬かったのですが、前屈で床に手が届くほど柔らかくなりました。それと筋力トレーニングの効果？なのかフラフラしていた素振りもあまりブレずにしっかり振れるようになったような気がします。(母)

廣江さん 私は、この2カ月間、木刀の素振りを基本的に毎日やっています。最近ではタイヤ打ちもやっています。タイヤ打ちでは、面打ち、引き面、引き胴などをやっています。だんだんと打突が強くなったり、今まで打てなかった引き胴が打てるようになってきています。他には、スクワット、なわ跳び、ランニングなどをして、運動不足にならないようにがんばっています。

宮島さん 私は、素振り800本以上を毎日続けています。左手を中心からはずさないことと、左足のひきつけを早くすることを意識しておこなっています。最近では、動画で見た片足早素振りにも挑戦しています。早く稽古が再開してほしいけれど、稽古ができるようになるまでは、動画で見た練習方法も取り入れながらたくさん素振りをして、剣道の基本をしっかり身に付けたいです。

百木くん 二重跳びができるようになりました。自粛生活でたくさん縄跳びをしていたからかなと思います。できたのは一回だけなのですが、今まで一度もできなかったので、とても嬉しかったです。

森岡くん 我が家は、朝、父親とのジョギングから始まり、午前中に課題や宿題などをこなし、午後はフリーにしています。素振りチャレンジには参加できていませんが…竹刀はほぼ欠かさずに振っています。この期間中に料理に目覚め、目玉焼きやホットケーキから始まり、母とお菓子や手ごねパン作りに励んでいます。どうしたら見映えよく仕上がるかにこだわっています。ポテト食べたさにひたすらじゃがいもを剥き、素揚げと片栗粉や小麦粉と揚げるものと食べ比べをしています。親子で一番驚いたことは、今までご飯を炊飯器にセットしたことがなかったことでした…。出来るものだと頼んだら…水が目盛りまで米を入れていました…。こちらが考えもしない発想に驚き、米の炊き方を学びました。(母)



岩田くん 家の手伝い、お風呂掃除、お茶碗すすぎ、洗濯物たたみを頑張っています。ベランダにトマトとキュウリとパプリカとねぎとパセリ、山椒が仲間入りしたのでお世話をしています。あとは、ガンブラを作ったりしています。ガンダム、グフ、ガンキャノンを作りました。お気に入りグフです。1日で作ってしまうのでゆっくり作るように注意されました。

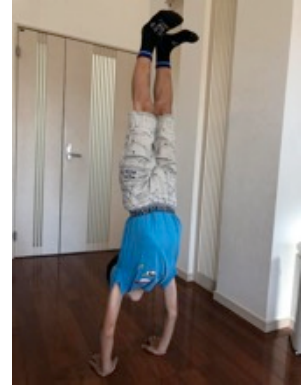


小島くん 僕は、素振りチャレンジで、正面素振りやっていました。正面素振りで先生方に注意された右手の高さや、上げたときに、腕を曲げるなどを意識して、素振りを、しています。あと、マイクラやプラトゥーンのスキルが上がりました。

小澤くん ぼくは、この前の第2回チャレンジの時、毎日かかさずできたので良かったです。後、この自粛期間が過ぎたら、またみんなと剣道がやれたらいいなと思います。

品田くん ぼくは休校期間中できるようになったことが3つあります。1つ目はブレイブボードをすいすい乗れるようになったことです。2つ目はマスクがぬえたことです。3つ目は素振りを続けられたことです。今まで家で竹刀をふったことはありませんでした。スイートポテトも一人で作りました。

柴田くん 倒立(逆立ち)が20秒できるようになりました。自主練や筋トレを毎日頑張って体幹を鍛え、30秒以上できるようになりたいです。
あとは、木登りで一番てっぺんまで登れるようになりました。(結構高い木です) **柴田くん→**



矢嶋くん 家のお手伝いを自分からやるようになりました。
洗濯たたみ、お皿洗い、草むしりとか。
助かると言われました。
自主練はできるときにやっています。

小野塚くん(兄) 最近出来たこと
・都道府県と県庁所在地を全部覚えたこと
・蹲踞素振りが20回できたこと
目標
・トランポリンで体力をつける

高山くん 毎日継続して素振りをしています。
回数は日により異なりますが、最低200回は振るようにしています。
剣道以外の部分では、家のお手伝いができるようになりました。これまでは、ごみ捨て当番、昼食当番、洗濯当番をやりました。
兄が昔やっていたブレイブボードに乗れるようになりました。
久しぶりに虫取りにいったら、以前よりうまく昆虫ゲットできるようになっていました。またみんなと一緒に稽古ができる日が待ち遠しいです。

あと親非公認ですが、腕立て伏せがうまくできるようになったと申告がありました。、(父)

並木くん 毎日300回の素振りを欠かさず続けている。
けん玉で、大皿と小皿、交互に7回連続で乗せることができるようになった。
47都道府県を漢字で書けるようになった。

廣江くん 僕は、2カ月間、素振りやランニングをしています。
素振りは基本的に木刀で、手刀の素振り、上下素振り、体さばきの素振り、前進後退左右の正面素振りと面面胴胴の素振り、早素振りなどを行っています。ランニングをする日は、近所の調整池の周り一周しています。そのおかげで体力が少しずつついてきている気がします。

宮島くん ぼくは、正面素振り500本以上、早素振り150本以上をやっています。
左手で振ること、左足を早くひきつけることを意識しています。
難しいけれど片足早素振りにもチャレンジしています。
早くもとの生活にもどって剣道をたくさんやりたいです。

百木さん 縄跳びのあやとびがたくさん跳べるようになりました。今まで最高でも2回しか跳べなかったのですが、11回跳べるようになりました。学校が始まるまでに、もっと跳べるようになりたいです。

小野塚くん(弟) 最近出来たこと
・二重跳びを3回跳べるようになったこと
・かけ算の九九を全部言えるようになったこと

- ・ 蹲踞素振りが20回できた
- 目標
- ・ 二重跳びを10回跳べるようになる

私も在宅勤務が増え、子供たちと共に過ごす時間が長くなっています。折角の機会ととらえて遊びや勉強、運動を一緒にやっています。子供たちが将来振り返った時に、この時期のことが家族で過ごせた特別な時間だったと思ってくれるといいなあ、と思っています。
またこまけんの皆さんと剣道ができることを楽しみにしています。(父)

葛西さん

稽古が自粛になってしばらくしてから「早くみんなと稽古したいな」と、今まで無かった発言をしていました。稽古が始まったらきっと今までよりもっと気持ちを入れて取り組んでくれることを期待しています！
素振りチャレンジも楽しく参加させていただきありがとうございました！
(父)

竹刀2本分離れよう



竹刀から考える算数

☆ 1尺は約30cmです。そして1尺は10寸です。

① 今、皆さんが使っている竹刀は約何cmでしょうか？
ものさしで測る前に考えてみよう～。

② 皆さんの身長は何尺何寸といえるのでしょうか？
久々に自分の身長を測ってみるのもいいですね。
きっと大きくなってよ～

ちなみに坂本龍馬は5尺8寸、西郷隆盛は6尺超えとも言われています。



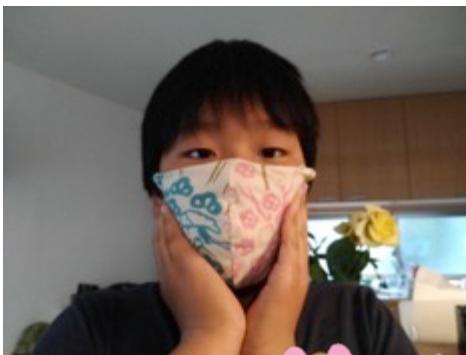
駒剣手づくり部

チクチクおうち時間♪竹刀を針に持ち替えて～♪♪

清水さん



その他



石井のetc日記

1

剣道部だった 中学時代の ヒト



親子と言わゆる位の
身長差だった。

剣道部部長の
Kちゃん
と同じクラスでした。



クラスニ小サシ
ワタシ



中一以外、なんと11年間
ぶっちぎリクラスメイト!!

先日NHKBSの
だ平記
見てたら

なかいらし
少年が
あつという間に
次の場面で



大地の甲カに
なつてしまた
のですか

若
右馬え助



それで
思い出した
ことがあります。



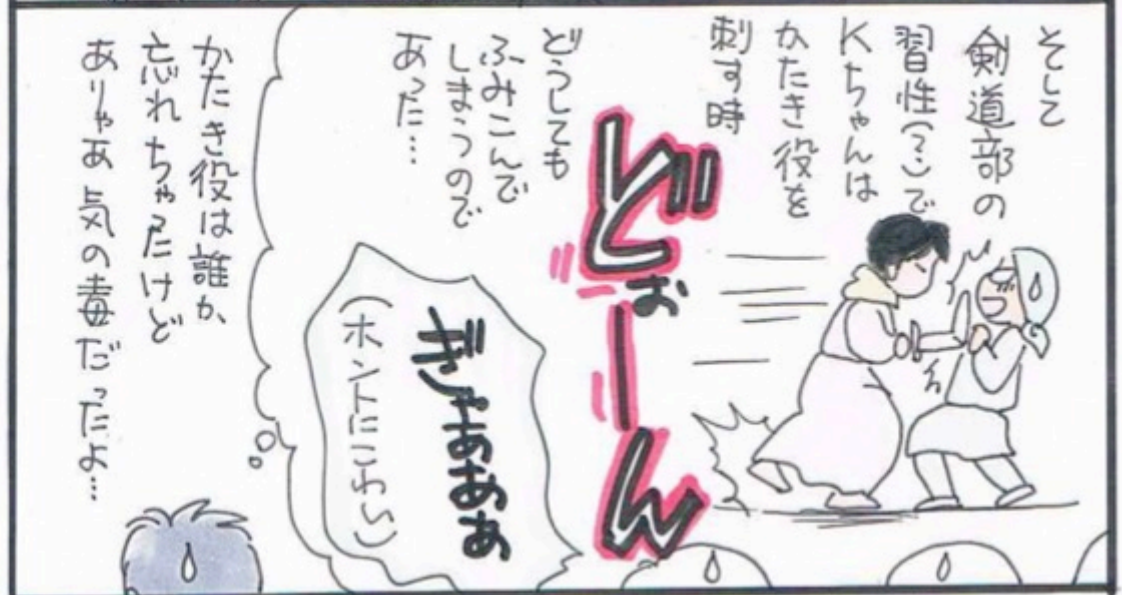
アしと似ただ...

たしか中学三年の
文化祭。
クラスでステータズ発表を
することになりました。

アリババの娘が、
父を殺した盗賊へ
復讐するお話に
します!!

斬新ななまごのさん





(縦スクロール設定です。印刷の場合は左右逆になります。ご了承ください。)